

開発建設部だより

## 「体験型のフィールドミュージアム」

～国立民族共生公園の施設概要について～

札幌開発建設部

国立民族共生公園は、自然環境等を活かしながらアイヌ文化の多様な要素を一般の人々が体験・交流する**体験型のフィールドミュージアム**として、整備しています。また、園内には、多様な来園者が快適に過ごせる魅力ある空間を形成するために必要となる施設を配置しています。



国立民族共生公園の施設配置図

当部で整備している主な施設として、体験学習館、工房、エントラント棟がありますが、それぞれの施設の概要について紹介します。

なお、体験交流ホールは、営繕部において整備されています。

## 1) 体験学習館

修学旅行生をはじめとする団体の来園者等を主たる対象として、体験交流等活動のうちアイヌ語、伝統的生業（狩猟・漁労・採集・料理等）、工芸（木彫、刺繍、織物等）について体験・交流できる施設です。



外観イメージは、周辺の山並みに溶け込む緩やかな勾配屋根と、柔らかな曲線の屋根・庇形状を採用しています。ハイサイドライトにより自然光・風を採り入れ、室内でも自然を感じられる空間を提供します。芝生広場を一望することができ、外部空間との一体感と広場への誘導性を高めるガラススクリーンを持つ外観としています。

色彩は、ポロトや周辺の自然の移ろいにも溶け込むグレー系としています。



体験学習館のイメージ

### 【施設概要】

施設名：体験学習館 鉄筋コンクリート造平屋建て  
延べ面積 947 m<sup>2</sup>

設計者：(株)ドーコン

工事名：国立民族共生公園建築施設新営工事

施工者：(株)丹波組

工期：平成 30 年 6 月 1 日～平成 31 年 3 月 25 日

## 2) 工 房

一般の来園者を主たる対象として、体験交流等活動のうち工芸（木彫、刺繍・織物等）について体験・交流できる施設です。来園者が工芸の製作を体験するとともに、工芸製作者が実演する様子を来園者が見学できます。



外観イメージは、伝統的コタンの建物形状を踏まえたシンプルな勾配屋根とし、伝統的コタンからつながる、プ（倉）をモチーフとした木調ルーバーをもつ外観としています。

色彩は、伝統的な生活の風景を引き立て、落ち着いた雰囲気となるグレー系としています。



工房のイメージ

### 【施設概要】

施設名：工房 木造平屋建て 延べ面積 496㎡  
設計者：(株)ドーコン  
工事名：国立民族共生公園 公園施設新築工事  
施工者：アイグステック株式会社  
工期：平成30年3月14日～平成31年3月25日

### 3) エントランス棟

象徴空間の出入口として来園者を安全かつ円滑に迎え入れ、送り出すため、博物館の入口に近接した位置に配置しています。来園者に飲食等を提供するほか、団体来園者のガイダンスを行います。



外観イメージは、国内外の多様な人々との「共生」と「連携」の和を表現する円形広場を囲むデザインとしています。「アイヌ文化を体感」できるよう、ウツナイ（川）、ポロト（湖）、伝統的コタンを望める大きなガラススクリーンをもつ外観としています。

色彩は、民族共生の象徴をシンボリックに表現し、入口への誘導性が高く、自然の移ろいを映す白色系としています。

#### 【施設概要】

施設名：エントランスA棟 鉄骨造平屋建て 延べ面積 650㎡  
エントランスB棟 鉄骨造平屋建て 延べ面積 638㎡

設計者：(株)ドーコン

工事名：国立民族共生公園 エントランス棟建築工事（予定）

国立民族共生公園 エントランス棟電気設備工事（予定）

国立民族共生公園 エントランス棟機械設備工事（予定）

※工事は、平成31年7月末の完成に向け発注手続き中。

国立民族共生公園は、2020年4月の一般公開に向けて、関連工事も含め工事を進めているところですが、今後も各施設の工事の進捗状況について、随時紹介する予定です。

また、北海道開発局のホームページにおいて、国立民族共生公園の基本計画、整備に向けての検討過程を確認することができます。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/tosijyu/ud49g700000jqql.html>